



令和元年11月1日

東かがわ市議会
議長 橋本 守 様

東かがわ市議会

行政視察等報告書

研修日	令和元年10月16日（水）～18日（金）
研修地等	北京市 北京市海淀外国语実験学校視察
参加者	議員11名、随行者 議会事務局2名
概要等	<p>【海淀外国语教育グループ】</p> <p>「中国と西洋における教育の特徴の融合」という教育運営の方針に則り、教育環境や人材を併せ持ち、3歳から18歳までの生徒に対し、個性的にかつ多元的に成長できるような教育を提供している。</p> <p>その核となる「北京市海淀外国语実験学校」は、北京市海淀人民政府によって承認された全寮制の私立学校で、北京校の生徒数は5,000人余り、教員スタッフは1,000人以上の規模で北京市の同系統の学校ではトップである。</p> <p>今年9月には2020年の冬季オリンピックのメイン会場となる京北地区に、小中学校で3,000人規模のキャンパスを開校した。ウィンタースポーツ部門の強化を進めることを目的としている。</p> <p>【本市との交流】</p> <p>北京市海淀外国语実験学校他言語学科日本語コースの児童生徒との交流は、平成29年度から合同学習や部活動体験、ホームステイ体験を実施している。</p>

研修内容	<p>16日（水）移動・北京市 李理事長ほか、学校法人の執行役員や教員による歓迎レセプションに参加。</p> <p>17日（木）北京市・北京キャンパス視察 午前、北京市内から車で約2時間、京北地区の冬季オリンピックスキー会場に近い場所に開校したキャンパスを視察。 キャンパスは広大な敷地に、小学校、中学校、体育館、温水プールやスケートリンク、スキージャンプ台などの充実した施設整備され、現在も建設工事が続けられていた。立地の環境や施設の状況からもウィンタースポーツの選手育成に取組む姿勢がよく分かった。</p> <p>午後、本校に移動し施設内の幼稚園、小学校、中学校、高校の授業の様子を見学。 幼稚園では、ピアノ指導を個室で個別に行なうなど、専門的な授業をすることにより幼児時期から早い段階で潜在能力を引き出し、伸ばしていくような教育スタイルであると感じた。</p> <p>小学2年生の日本語の授業では、カタカナや平仮名を普通に読み、日本の曲を歌っていた歌詞は漢字と平仮名で書かれたもので能力の高さを実感した。</p> <p>高校の日本語専攻クラスでは、全ての生徒から日本語で自己紹介を受けた。日本に対する思いや東京大学や日本の一流大学を目指していることをなど、その志の強さと語学力は素晴らしいものだった。</p> <p>午後7時からは、清華大学講堂で開催された北京市海淀外国语実験学校創立20周年記念式典に出席。 オープニングから生徒、教員によるアトラクションまで全てがプロに匹敵するレベルであり、その能力の凄さと精度の高さに感銘を受けるとともに、優れた教育環境による成果である実感した。</p> <p>現在行っている同校との交流がさらに発展すれば、本市の児童、生徒たちにとって大きな刺激となり英語力の向上、国際理解を通じたコミュニケーションなど多くのメリットが考えられる。今後、同校が取組む学校経営等について注視し、現状の問題や課題点について洗い出し、検討を進める必要がある。</p>
------	--